



赤磐市議会だより

令和4年6月議会 第70号

CONTENTS

- 6月定例会のあらまし…………… 2P
- 委員会のうごき…………… 4P
- 16人の議員が一般質問…………… 7P

令和4年度補正予算（一般会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（7473万円増額）（第2号）

- ・低所得子育て世帯生活支援特別給付金（4610万円）
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金（2863万円）

一般会計（4億7853万円増額）（第3号）

- ・学校施設耐震補強事業（1億9985万円）
- ・学校給食費負担軽減対策補助金（1億5302万円）

一般会計（1億684万円増額）（第4号）

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金（1億684万円）



議案審議

6月定例会を6月3日から6月29日まで27日間の会期で開催した。承認案件3件を承認、議案6件を可決、請願1件を採択とした。

一般会計（第4号）

問 人材派遣委託料について、なぜ221万円もかかるのか。

答 住民税非課税世帯にプッシュ型で通知を送っている。その後、人材派遣会社と職員とでチェックしているが、大変煩雑で、時間も手間もかかっているためである。

問 先日尼崎で、USBメモリーが紛失した事件があった。これと同じ作業だと思うが、赤磐市ではこういったことが起こらないのか。

答 赤磐市では、セキュリティポリシーにより、全体的な方針、個人情報保護等を定めている。また、再委託、委託

討論

議案第38号 令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第3号）

【反対討論】 (2人)

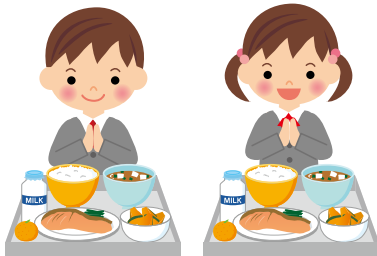
業者が持ち出せるのかは、契約書等でしっかりと定め、流失等がないような方策を取っている。今回の事件を教訓に再徹底する。今のところ紛失等の事案は起こっていない。

問 職員のパソコンは、データが持ち出しできないようにしているのか。

答 通常は全体のサーバーで、データ管理をしている。

▽新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を財源に学校給食費負担軽減対策補助金に約1億5300万円を充当し、小・中学校の2、3学期の給食費を免除するが、今年度値上げ分30円相当の助成で十分ではないか。昨年の水道料金減免は、全市民に効果があったが、給食費免除は約8%の人にしか行き渡らない。また今回4事業に絞った経緯がはつきりしない。やりたかったが先延ばしにしていた事業に充てるべきではないか。よって反対する。

▽戸別受信機の配付（自己負担有り）は限定300台だが、要支援者が屋内に戸別受信機があったら助かるという発想ではない。国の交付金頼みで実態を把握せずにおうとしている。給食費も2学期、3学期は無料だが、翌年度はまた値上げした30円分が上乘せされて請求される。こんな生活が安定しない支援があるのか。国からのコロナ交付金の使い方が非常に乱雑である。こんな議案を議会が認めたら本当に求められる事業が実現しないのではないか。よって反対する。



請願第2号 子どもたちの未来を守るための請願 **【採択】**

【要旨】

5歳から11歳の子どもへのワクチン接種券一律送付を中止して、保護者から市への申請方式に変更を求める。

保育園、幼稚園、小・中学校の学校生活における児童、生徒、教職員のマスク着用を推奨せず、マスクの自由化、マスク着用の有無での差別意識を持たせない保育、教育の実践を促すよう求める。

【賛成討論】

(3人)

▽子どもは周囲の人の表情で喜怒哀楽を覚えていく。登下校時、国は熱中症防止の観点からマスクを外すことを推奨している。オミクロン株は重症者や死者は少なく、感染してもほとんどは無症状か軽症だ。5歳からの接種券送付は、経費をかけても接種率は低い。接種券の発送は控え、希望者が申請すればよい。請願の趣旨は、接種券の一律送付を中止し、保護者から市への申請方式に変更をというものである。よって賛成する。

▽請願者から3869筆(うち赤磐市民398筆)の署名が提出された。子どもへのワクチン接種はまだ有効性や有益性にエビデンスなどがなく、看過し得ないような副反応や後遺症の報告が散見される。子どもへのワクチン

接種券の一律送付ではなく、それぞれが十分議論すればいい。学校現場では、教師をはじめ大人がマスクを外すことで子どもたちは安心して外せる。教師にはマスクを外すよう指示することはできないという教育委員会の意見だが、本来子どもの健康を第一に教育者として考えてもらえば、当然教師が外し、安心して子どもが外せるような教育環境をつくるのが教育者としての義務ではないかと思っている。よって賛成する。

▽オミクロン株は、子どもには感染しても無症状か軽度の症状しか出ないものになっている。マスクにより熱中症や十分な呼吸ができず、脳の成長に欠かせない酸素の必要量を届けることができず、脳機能の発育が遅れたりすることの方がリスクが高いと感じている。また、政府も適切なマスクの使用をと言っている。急ごしらえのワクチンは10年後、20年後にどのような健康被害が起こるのかまでは検証されていない。しかし、一律には考えておらず、必要な子には支援の手を届けるべきだと思う。正しく理解と対処をすることで子どもたちの未来を守り、家庭の負担を軽減する姿勢を取る。よって賛成する。

令和4年6月第3回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	佐藤 武	佐々木雄司	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて赤磐市税条例等の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—
議第38号	令和4年度赤磐市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
請願第2号	子どもたちの未来を守るための請願	採択	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	●	○	○

○=賛成 ●=不賛成

※実盛祥五議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。
 ※請願第2号については可否同数であったため、議長において可否の裁決を行ったものです。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて赤磐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて赤磐市地方活力向上地域に係る固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例	承認
議第34号	令和4年度赤磐市一般会計補正予算(第2号)	可決
議第35号	赤磐市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例	可決

議案番号	案 件	議決結果
議第36号	赤磐市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第37号	岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び組合規約の変更について	可決
議第39号	令和4年度赤磐市一般会計補正予算(第4号)	可決

予算 常任委員会

6月21日に予算常任委員会を行った。

議案1件について審査した。

コミュニティ施設整備事業に1850万円増額

問 桜が丘西4丁目のコミュニティ活動備品、西軽部のコミュニティセンター建設の2件について説明を。

答 西4丁目は物置、テント、長机、椅子などで250万円、西軽部のコミュニティセンターは築年数が分からず相当年数が経過していて、現在の仕様は、バリアフリー等そぐわないことから新築を行うもので1500万円を宝くじコミュニティ事業で補助をする。

防災行政無線管理事業に990万円増額

問 戸別受信機配付にかかる経費の増額について、詳しく説明を。

答 これまで戸別受信機を一般家庭に配付していなかった山陽・赤坂・桜が丘東、この3地域の避難行動要支援者名簿に掲載されている世帯に対し、300台の配付を行う。

問 自己負担は。

答 1世帯当たり3000円の負担金をもらう。



戸別受信機

問 300世帯では少ないように感じるが。

答 この3地区で要支援者名簿に掲載されているのが1505世帯。このうち今回募集をかけて配付するのが300台である。

黒本保育園運営事業を1366万円減額

問 黒本保育園の休園による減額で1366万円。の計上だが、休園の理由と、いつの時点で決定したのか。また、園児の対応はどのようにしたのか。

答 通園する園児は10名程度で、現在は周匝保育園に通園している。吉井地域全体的に園児が少なくなっている現状の中、黒本保育園の老朽化で修繕の必要な所が出てきたこと

ともあり、12月末に保護者、区長と協議し、年明けに休園の方向で調整して1月末に決定した。

周匝保育園園長から「園児の数も増え30名程度で運営していて、非常に活気が出て喜んでい」と聞いている。

学校給食センター一般管理事業に1億5302万円増額

問 学校給食費負担軽減対策補助金の対象は。

答 小学校、中学校の児童・生徒の給食費を、令和4年度

2・3学期の全額を補助する。

問 2・3

学期の給食費を全額補助する背景は。

答 事業実施の背景には、国の新型コロナウイルス対策交付金の活用の中に生



東学校給食センター

活者支援に関する事業として、学校給食等の負担軽減など、子育て世帯に対する支援という事業メニューがあり、この目的に沿って事業を行う。

問 他市では全額補助ではなく一部補助を行っているが、もっと多くの市民に行き渡るような形の事業は考えなかったのか。

答 本市では、生活者支援に関する事業で家庭への支援ということ、学校給食費全額分が補助できる財源の確保にめどが立ったので予算計上した。

生活指導総合実践事業に847万円増額

問 この予算は、スクーラーシヤルワーカーの配置だが、何名配置していつから活動するのか。

答 新たに1名の配置を考えている。活動開始は、予算成立後、人材が確保出来次第となる。

問 スクーラーシヤルワーカーの資格は。また、対象となる児童・生徒は。

答 社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士等の資格を持った人がスクーラーシヤルワーカーとして活動する。不登校の児童・生徒、いろんな問題行動や家庭の状況など児童・生徒に直接働きかけたり、関係機関等につなげる職務内容で、学校等と連携しながら取り組みを進めていく。

総務 常任委員会

6月17日に総務常任委員
会を行った。
議案1件について審査
した。

厚生文教 常任委員会

6月15日に厚生文教常
任委員会を行った。
議案2件及び請願1件
について審査した。

岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び組合規約の変更について

問 「竹川組合」脱退の理由は。

答 「竹川組合」は竹川用水路の利水に関する業務を行っており、一部事務組合から協議会方式へ移行するため脱退となる。

請願第2号 子どもたちの未来を守るための請願

各委員より意見が出されたのち、採決し、採択した。

主な意見

- ・ 文部科学省も、各学校で熱中症による子どもへの搬送が急激に増えている指摘の中で、外では全部マスクは外す、通学もマスクを外すよう指示を出している。高齢者のためにマスクで子どもたちの心的な

病気や自殺、体力的に落ちるような状況を一刻も早く解決する責務が議会としてあると思っているので賛成する。

- ・ ワクチン接種に関する内容に特に反対である。高齢者や基礎疾患を持つ人の家族は接種したいと思う。一律で、接種券送付中止は非常に問題があると思う。また、子ども自身をコロナ後遺症から守るためにもワクチン接種券一律送付中止は反対する。

- ・ 様々な意見や話が出回り、何が正しいのかわからない状態で、正解が出るのはおそらく10年、20年先と思う。医師の話聞き、ある程度理解でき、このような議論が必要と思うので賛成する。
- ・ ワクチン接種は国が推奨するなか、ワクチンを打たせる親、打たせない親がいる。ワクチンを打ちたくても打てない人もいる。それを

踏まえると時期尚早だ
と思うので反対する。
・ 2年半前の状況に少し
でも早く戻り、人間らしい育ちを取り戻さな
いといけない。その中
で専門の先生と連携し
発信をしている。強制
ではなく選択して本当
にどうしたらいいかと
いうことを考えてもら
うことが大切だと思う
ので賛成する。



赤磐市マスコットキャラクター
あかいわももちゃん

**パソコン・スマートフォンで
議会中継を！**

赤磐市議会では、市民の皆さまに議会を身近に感じてもらうために、本会議の様子を生中継・録画中継しています。

パソコンの他に、スマートフォンやタブレットにも対応していますので、自宅や外出先で気軽に議会中継をご覧になれます。

録画中継は、会議終了後1週間程度で視聴が可能になります。

視聴方法

赤磐市議会ホームページ内の「インターネット中継」からご覧いただけます。



厚生文教常任委員会視察研修

7月12日に2カ所の視察を行った。

多機能型障がい者施設 おひさまPL US瀬戸万富事業所

障がい者福祉施設の現状と課題について調査、確認のため視察を行った。生活介護・就労継続支援B型施設の需要と供給のバランスと就労継続支援のための安定した仕事の確保に課題を感じた。

赤磐市立軽部小学校

令和3年度からGIGAスクール構想による児童生徒1人1台端末の活用が開始され、端末の活用状況等の確認のため視察を行った。

授業でどのように端末を活用しているか、1年生、4年生、6年生の授業を参観した。今後さらになるWi-Fi整備、家庭での端末の使用等課題事項を確認した。



軽部小学校（1年生）

産業建設常任委員会視察

産業建設常任委員会は、赤磐市で「道の駅」建設の計画があるため、令和4年4月21日に真庭市の「真庭あぐりガーデン」及び「道の駅醍醐の里」、津山市の「道の駅久米の里」の視察を行った。

視察した施設に共通して言えることは、主体が民間で行政がうまくフォロー、サポートしている。市民のために行政が汗をかき、市民が応えている。「道の駅」を造りたいとする市民からの強い要望があり、それを行政が受け止めた経過の説明があった。成功の秘訣は市民が運営に参加する形としている事にあると感じた。



道の駅久米の里

ようこそ赤磐市へ



令和4年7月14日にエコプラザあかいわ（赤磐市環境センター）で、「北海道名寄市議会市民福祉常任委員会」の視察を受け入れた。名寄市では新しい施設の建設計画があり、赤磐市環境センター設備導入に至る仕様決定、赤磐市が取り組んでいる23種類分別について説明を行った。その後、事前にもらっていた質問に答え、施設内を案内して、視察の受け入れを終えた。

一般質問

市の考えを問う



16人の議員が登壇し市の考えをたどしました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
安藤 利博 8ページ	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通計画策定にあたっての前提条件確認 効果的な交通安全対策（ソフト、ハード両面）の実施について 	治徳 義明 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> ホッケーのまち赤磐の取り組みについて コロナ対策について 山陽団地の活性化の取り組みについて 3歳児検診における子どもの弱視の早期発見の取り組みについて
光成 良充 8ページ	<ul style="list-style-type: none"> 赤磐市の観光事業について 夜間中学について 自動交付機の廃止について 	金谷 文則 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> 将来を担う赤坂地域の子供たちの事について コロナ問題やウクライナ問題が影を落とす中だが、赤磐市はどのように生き延びていく対策を取るのか、財政、事業見直しについて コロナ問題が学校教育に与える影響と対策・対応について
松田 勲 9ページ	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生臨時交付金の活用について 空き家・空き地対策について 	保田 守 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> 山陽団地内の土地について 松くい虫駆除空中散布について 庁舎改築工事について
大森 進次 9ページ	<ul style="list-style-type: none"> 地区の集会所に無料Wi-Fi・太陽光発電を 	永徳 省二 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の安全について ヤング・ケアラーについて 県立高校誘致について 市のコンプライアンスについて
佐々木 雄司 10ページ	<ul style="list-style-type: none"> コロナ患者搬送時の特別手当について ICT活用の方針について 経常収支比率の改善について 企業版ふるさと納税の寄付額増加取り組みについて 食料備蓄の体制作りについて 	原田 素代 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> 市長のコンプライアンスについての見識を問う 災害への対応
佐藤 武 10ページ	<ul style="list-style-type: none"> 戦没者追悼式について 総合受付窓口の設置について 	大口 浩志 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策について 医療体制について 企業誘致について 産業振興について
福木 京子 11ページ	<ul style="list-style-type: none"> 山陽団地の中心部を市としてどう考えているのか コロナ禍の一人暮らしに対する施策を 若者の声を市政に反映を 桜が丘から五日市への4車線道路に歩道の整備を 	鼻岡 美保 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> 住民票・所得証明等の自動交付機に替わる、マイナンバーカードによらない機械の設置は ふれあい公園の整備 児童館の実現を 国保の均等割減免 森林環境譲与税は、赤磐市ではどう使われているのか
牛尾 直人 11ページ	<ul style="list-style-type: none"> 市内各公民館駐車場について コンプライアンス推進室について 令和3年度通学路危険箇所について 県道250号山口山陽線交通量について 	佐藤 武文 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> 赤磐警察署の誘致は実現できるのか 最終処分地はいつ完成するのか これからの農業はどうあるべきか 学力向上の成果はあがっているのか

表紙の一言

5月2日に、磐梨小学校6年生20人が社会科授業の一環で議会へ見学に訪れました。生徒から見た赤磐市の課題に対して市長に質問を行い、しながら本会議の様相でした。

問 定時定路線の市民バスを補完する移動手段を

答 利便性の高い公共交通網の構築を図る

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



安藤利博議員

36便中何便あるか。1人未滿の便を運行する必要があるので。行財政改革の観点から再検討を。

高陽北西高月線全3便、可真桜が丘線3便、小野田線全6便、豊田熊山線全6便等がある。利用者実績に応じた路線の縮小の検討は見送っている。

地域と行政が一緒になって、市民バスを補完する新しい交通手段を考へられないか。

従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源について幅広く調査分析する。

効果的な交通安全対策

小学校の登校時間を15分繰り下げたが、見守りをしている保護者の事情は考慮したのか。

地域公共交通計画について

自家用車を持たない移動困難者、市民バスの実利用者数は。

自家用車を持たない世帯数は、把握していない。実利用者はおおよその人数把握は可能である。

運行便数が、週に36便から週に6便と、地域により6倍もの差がある。運行縮小検討の目安としている、1便平均輸送人員が2人未滿の便は

1月に教育委員会から保護者宛に趣旨を理解いただく通知は出した。

通行車両のスピード抑制に有効なハンブをなぜ設置しないのか。国交省の調査で、騒音、振動は変わらないとの結果が出ている。

スピード抑制に効果があるとは理解しているが、住宅街での設置は不向きと言われている。

桜が丘には住宅の間に1m位の歩道がある。注意喚起のイメージハンブを設置しないのか。

地元要望があれば協議し、順次対応する。

新型コロナウイルスのまん延が収まらない中、経済活動や人の流れが増えている状況で、市の観光事業やイベントはこれからどのようにするのか。

感染予防、拡大の抑止は市の責務として継続して取り組んでいくが、今後は国、県のイベント開催基準に従い安全を確保し新たな考えに基づいて計画する。

市内の地区町内で行うお祭りなどは、市のイ

問 今年の赤磐花火大会の実施は

答 実行委員会と協議し、中止が決定している

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



光成良充議員

ベント開催状況に倣って開催を検討するという地区町内が多数ある。市としてこれからどういう考え方でイベント等の開催について進めていくのか。

地域の活性化のためには、今後もそういう行事が必要なものであると認識している。3密の回避など、コロナ対策を徹底した上で実施していくべきで地域のにぎわいなどを復活していただきたい。

今年度の赤磐花火大会は当初予算が計上されていない。コロナ禍が要因か、また他に要因があつてこのたのか。

コロナウイルスの感染状況などからお客様、関係者の安全を確保するため今年度の花火大会は実行委員会と協議の結果、中止が決定している。

岡山連携中枢都市圏事業の夜間中学の設置の検討・準備・運営に赤磐市は連携市町として参加している。この取り組みはどのように進めるのか。

岡山市が令和7年度の開校を目指しており、今年度は設置方針の検討を行う。赤磐市の役割は整備・運営への参画、協議の上必要に応じて費用の負担などである。

市役所にあつた各種証明書の自動交付機が撤去されたが、今後の発行方法について市の見解は。市民はコンビニでの発行にシフトしていると認識していて、民間の活力を最大限活用したい。



竜天オートキャンプ場のハンブ



令和元年の赤磐花火大会

問

地方創生臨時交付金の活用を積極的に

答

学校給食費の無償など独自施策を検討

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



松田 勲議員

問 政府の総合緊急対策では、各自自治体の事業を国が財政支援する地方創生臨時交付金を拡充し、コロナ禍における原油価格物価高騰対応分の創設が決まった。

答 これまで水道料の減免、キャッシュレス決済推進事業、新生児子育て応援特別定額給付金事業などに取り組んできた。本年度は、飲食店デジタ

ルスタンプリリーなどの事業にも取り組んでいく。物価高騰による生活支援、保護者の負担軽減を目的として小中学校に通う児童・生徒の2学期、3学期分の学校給食費を無償とする経費を6月補正予算で計上している。市民の生活支援や地域の経済活性化につながる事業者支援に向け、市独自の施策を検討していく。

空き家・空き地対策



桜が丘地内写真

でも、条例の見直しも含め、市が積極的な対策に取り組みべきではないか。
答 空き地の苦情・相談件数は、令和2年度が346件、令和3年度は188件。特定空家認定や準特定空家認定による対策で令和3年度は63件の通知を行った。準特定空家を15件認定。それに基づき解体補助を含め9件について解体・修繕が行われた。空き家は1722件で14%である。今後今まで以上に密に町内会との連携と、環境条例の見直しも含めた議論を進めていく。

問

地区集会所に無料Wi-Fi、太陽光発電を

答

他事業とのバランス、地区間の公平性を踏まえ検討する

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



大森進次議員

問 集会所は避難所の機能を有し、最悪の際は一定期間避難生活を送ることとなる。高度情報化が進む現在、Wi-Fiを情報入手手段とする人も増えつつあることから、市が把握しているWi-Fi設備の導入済みを集会所の状況を探る。

答 現時点で市が確認している地区は1件である。今後情報化が進むにつれ、Wi-Fi環境整備も手段として考えられる。避難所が必要なのが

食料、上下水道のインフラと電力で、これらは生命維持には必要不可欠で、防災資機材が調達しても電気がなければ集会所はただの物置である。昨年の秋に、国から脱炭素化社会の構築に向けて方向性が示され、今まで以上に脱炭素化がスピードアップすると思われる。太陽光発電設備設置費用が10年前との比較でお手頃になりつつある中で、赤磐市の集会所の設置の状況と普及に向けての支援の状況を探る。



太陽光発電設備を設置している集会所

問 Wi-Fi、太陽光発電の設置は国の強靱化、防災力の強化が叫ばれている割に極めて低い。原因は何と考えられるか。
答 各地区それぞれ必要性は十分理解をしていると思うが、原因は地元との負担の捻出と考える。
問 原因を地元負担と認識しているなら、解消するためにはどう策を講じるのか方向性を尋ねる。
答 財源確保が可能ならば他事業とのバランス、地区間の公平性、設置後の通信費などのコストの負担も踏まえ検討していきたいと考えている。

6月定例会のあいまし

委員会のしりぞ

いっぽん質問

その他協議会等

問 企業版ふるさと納税の寄附額増加の取り組みは

答 日本航空から人材派遣を受けて4月から勤務に就いている

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



佐々木雄司議員

問 救急隊員のコロナ患者搬送時の特別手当について

問 コロナ患者や感染が疑われる患者の搬送時の特別手当について、380円と聞いた。感染リスクを冒しつつ、それでも公務に励む姿勢に敬服する次第だが、隊員のリスクへの対価としては金額が低過ぎるのではないか。金額の見直しはできないものなのか。

答 まず救急隊の活動に

関して、公務とはいえ、感染リスクがある中で、赤磐市民の皆様の安全・安心のため、日々救急業務に精励している職員たちに感謝している。質問の特別手当だが、新型コロナウイルス感染症の傷病者を搬送した場合は、通常の出勤手当とは別に、当感染症の特例として、防疫等作業手当、1日につき1000円、長時間にわたって従事した場合は1500円が支給されるようになってい

る。

問 企業版ふるさと納税の寄附額増加取り組みについて

問 企業版ふるさと納税の寄附額増加を目指していくとの答弁があった。その中で予算書を見ると、増加に取り組む事業並びに予算のほうに計上

されていない。増加取り組みに係る予算の計上がされていない中、どのようにこのふるさと納税の寄附額増加につなげていくのか。

答 企業との包括連携協定に基づき地域産業支援や地域社会の活性化に向けた取り組みも始めている。昨年11月には日本航空と包括連携協定を締結し、本年度から、1名社員派遣を受け、産業振興や観光分野で活躍してもらっている。企業版ふるさと納税については、今後とも寄附額の増加に向けて取り組んでいく。



高規格救急車

問 戦没者追悼式の理念について確認する

答 戦没者の追悼と平和を祈念する式典である

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



佐藤 武議員

「全ての市民が平和を祈る市民参加の追悼式を」

問 第二次世界大戦から77年、人類の英知によって戦争は二度と起こらないと期待したが、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、国を守ることの難しさ、話し合いによる解決の難しさにより、世界の国々の意識が大きく変化している。戦争により失われた多くの犠牲を繰り返すことな

らなければならない現状となっている。こうした状況を踏まえ、他自治体で実施されている戦争の悲惨さを伝える子供たちの詩の朗読など、改めて若者をはじめとした多くの市民に対し、平和への認識を深める取り組みが必要ではないか。

答 コロナ禍以前の追悼式は希望される市民の方に参加できる旨の広報周知を図ってきた。ウクライナの戦争報道を見て、若者に戦争の悲惨さを伝えることは大切であると実感している。コロナ禍収束後の市民参

加促進については遺族会並びに事務局としっかり協議して進めていきたい。問 追悼式において戦没者名の表示をする考えはないか。また、戦没者名簿等の管理はどういう状況なのか。国の招集により戦死し、唯一の生きた証しとしての名簿である。散逸・焼失を踏まえ、補正のデータ化など、行政が主体となって取り組むべきではないか。

答 氏名表示については必要に応じて協議・調整させていただきたい。名簿の保管等については遺族の皆様の気持ちを大切に取組んでいく。



令和4年 戦没者追悼式会場(いきいき交流センター)

山陽団地の中心部を市としてどう考えているのか

山陽団地の活性化を担う重要なエリアと認識

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



福木京子議員

が、住民の期待の声を伝える。

コロナ禍の独り暮らしに対する施策を

問 コロナ禍も3年目に入り独り暮らしの高齢者は誰とも話す機会がなく孤独感が深まっている状況の中、施策をすべきではないか。

答 この問題は独り暮らしの高齢者だけでなく、高齢者全般で捉える問題である。それぞれの地域の実情に合った形でコロナ禍でも支援の必要な高齢者の見守りを続けているので、今後も引き続き進めていく。

若者の声を市政に反映を

問 若者が急速に増えている地域があり、市はその声を聞き市政に反映す

べきではないか。

答 転入者を対象に窓口でアンケート調査をしたり、若者まちづくり推進事業を実施し、地域の魅力や地域活性化への気づきなど意見を聞いていく。今後も様々な機会を設け市政に反映していく。

4車線道路に歩道整備を

問 桜が丘から五日市への4車線道路に歩道の整備をすべきだ。

答 開通当時とは交通量、車の速度、歩行者の利用状況など大きく変化しており、必要性を検討する。



現在の山陽団地中心部の状況

公民館駐車場に街灯が必要では

積極的に設置に向けた検討を進めていく

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



牛尾直人議員

告はなかったが公益通報は1件あった。

問 利用しやすい環境が、訴えを出しやすい、確実に対応される組織・制度にすることが必要。

問 通学路危険箇所58カ所本年度対応する場所は、37カ所は実施済、13カ所実施を見込んでいる。

問 実施済箇所は路面表示や交通指導など人的なものが多い。横断歩道に安全に退避できる場所が必要では。

答 道路状況からすべては対応できない。

問 一通学路の安全面は岡山で一番「意気込み」は、

答 通学路整備に、より以上力を入れていく。

問 13カ所の実施場所は、



西山公民館

下仁保スクールバス停付近、斗有スクールバス停付近、桜が丘西1丁目通学路、西8丁目公園前、軽部小学校峠の頂上、磐梨小学校小野田川沿いを実施。

問 県道山口山陽線鴨前から斗有にかけて交通量が非常に多いが対策は、

答 実現可能なものから対策を要望していく。

問 下仁保から天満池にかけて道路拡張後無理な追い越しやスピード違反など取り締まりを強化できないか。

答 警察としっかり相談し検討していく。

問 「ホッケーのまち赤磐」の取り組みは

答 世界レベルのチームのキャンプや大会を誘致していく

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



治徳義明議員

が必要であり、特に岡山県内の大学にホッケー部が出来れば、大きく環境が変わってくるのではないかと。③スポーツコミッションの導入や宿泊施設の誘致は。

①岡山県ホッケー協会とパートナーシップ協定を締結した。今後とも、ホッケー協会とも協力して世界レベルのチームのキャンプや大会を誘致していく。また、東京五輪

問 赤磐市には「ホッケーのまち赤磐」と呼べるだけの子供たちの全国的な活躍や長年の全国レベルの大会の開催等の地道に積み上げてきたホッケー競技の歴史と伝統がある。また、近年では、全国に誇るべき熊山運動公園多目的広場において、東京五輪の事前キャンプ誘致や4年連続の全日本ホッケー選手権も開催している。①今後の展開は。②小学生からマスタートーズまで総合的な支援

を契機としたニュージランドやカナダ、さらさらジャパン等、世界で活躍するトッププレイヤーとの交流活動を継続する。②県内の大学にホッケー部があれば大きく環境が変わる。課題である。③今後とも、大会やキャンプを誘致する中で、スポーツ環境の整備や受け入れ体制の構築を図り、

山陽団地の活性化

機運の醸成に努める。

問 ①6丁目の県営住宅跡地の整備事業のプロポーザルの応募がゼロだった。どのように対応するのか。②中心部商業圏の再開発の状況は。③高い公共擁壁の安全対策は。

答 ①有効な整備手法を検討し、早期実現を目指す。②地元の関心も高まっている。引き続き、所有者に活性化の声を伝える。③定点観測、補修工事を実施するとともに、大規模盛土の安全性の調査も実施している。



ホッケー女子アイスランド代表強化宿舎 in 赤磐

問 児童生徒数減少の中、このままではダメでは

答 どうにかしなければと、強く思う

個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



金谷文則議員

問 やっています。検討しますと言っているのはなく、赤坂地域のことをもう少し前へ進めてもらえないか。例えば、小中一貫校の部活にゴルフ部でも作って、よそからでもおいでよというような、ちよつと変わったことは考えられないか。

答 小学校3校で情報共有の会を行ったりしている。保護者からは複式学級の不安や、保護者と地域の方の意見対立などの不安も聞く。本年度も、市の重点施策に位置付け、学校統合実施計画素案のようなものを策定していきたい。本年度、もしくは年度明けを目的に取り組む姿勢でいる。

問 将来を担う赤坂地域の子供たちについて、児童生徒数が減少している中、本来の学校生活が出てくるのか。悠長に考えるような時期ではないと思う。かねてから言っているが、小中学生が減少している中、小中一貫でやるべきではないか。答 地域の意見を出しながら、方向性を踏まえていきたい。適正な学校規模や統合、小中一貫校、義務教育学校等、情報収集しながら研究を進めて



小中一貫校関係視察書類と参考本

現場で子供たちのマスク着用、ワクチン接種が大きな問題となっている。請願も出ているが、教育長の考えはどうか。答 熱中症リスクが高い場合の対応、身体的な距離が取れない場合のマスクの着用、マスクの着用が必要でない場合において子供や保護者に十分説明することは県からの通知を受け、教育委員会から学校へ指示している。学校現場で学びを止めない対応をしなければならぬ。人権的な配慮の下マスク着用の運用についても、保護者との共通理解を取りながら進める。

問 松くい虫の駆除について 今後の考えを聞く

答 森林の植生状況に応じて 事業を進める

個人質問の映像を 録画放映でご覧に なれます。



保田 守議員

この働きはない。広葉樹は松以上に保水力がある。市で現在も続けている空中散布の薬剤の害は私たちの子孫に影響が出ると言われている。我々ができることは、今この事業を中止すべきではないか。

答 県を交えて森林の植生状態を調査し確認しながら事業を進めている。

問 私は以前予算委員会で松くい虫の空中散布の予算で蜜蜂の移動について質問したことがある。蜜蜂が死ぬようなものを空からまくのかと大変乱暴な発言だったと思う。

海沿線にある防風林は、塩や風に強い松が必要である。国は防風林を守るために補助金を出している。今、松くい虫に強い種類の松を、枯れた後に植えている。空中散布も減っている。私たちの地域の松は防風林とし

本庁舎に職員食堂を

問 本庁舎の改築について、市民の皆さんや職員が利用できる職員食堂を作ったかどうか。現在昼食時に場所がなく車の中で食事を取っている職員もいる。活力の出る食堂が提供できる食堂を作ったかどうか。

答 職員の食堂として、一定の広さのスペースを確保することは難しいと考えている。食事がとれ、皆がくつろげる場所を計画している。

答 職員の食堂として、一定の広さのスペースを確保することは難しいと考えている。食事がとれ、皆がくつろげる場所を計画している。

問 昨年の調査後に見つかった 危険箇所は

答 桜が丘中学校グラウンドの フェンス、歩道

個人質問の映像を 録画放映でご覧に なれます。



永徳省二議員

時期については様々。 問 赤磐市通学路緊急対策推進計画2100万円の使い道は。

答 赤磐市では3カ所、山陽小学校区の市道馬屋下市線、下市日古木線、山陽東小学校区の市道桜が丘東1丁目28号線。この各路線において、車両用防護柵の設置、歩道の整備、路面標示の塗布等を予定。

通学路の安全について

問 昨年調査した通学路の危険箇所26カ所のうち各部の未解決数、解決策と解決予定日程は。

答 解決済み箇所数は、教育委員会13カ所、総務部0カ所、建設事業部1カ所。未解決箇所数は、教育委員会2カ所、総務部1カ所、建設事業部6カ所。交通安全啓発活動や防護柵の設置、路面標示等が主な解決策。解決

市のコンプライアンス

問 市長は、ふるさと納税謝礼金トップで奥様が社長をしている桃茂実苑に対して、金融機関からの3000万円の融資のため、自らの土地を担保に出したことが判明した。これが市のコンプライアンスに抵触しないのか。夫婦で市長報酬10

00万円以上と、市の謝礼金1846万円が奥様の会社に渡ることに対して、倫理上問題がないのか。こんなことが許されていないのか。

答 公務に関することではないため、答弁は、差し控える。倫理上の問題があるとは考えない。

問 この話を1000人の市民にしたら1000人の市民全員が、おかしいと答えた。市役所の内部で解決できなければ第三者による検証の必要性はないのか。

答 第三者による検証についても必要とは考えていない。



松くい虫で枯れた松



桜が丘中学校グラウンドのフェンス、歩道

問 前回「私的なこと」が、今回は「私的なことでない」答弁が言葉遊びだ

答 疑念をもたれる行為はない

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



原田素代議員

なく問われるべきものである。今回市長は、一方で無関係と言い、一方で私的な問題と使い分けている。人をだますような発言はするべきではない。

答 その会社は、家族が経営しているが、私は経営には、私的、公的に関与していない。

問 市の事業であるふるさと納税で、断トツの収益を上げている妻の経営する事業所に、市長名義の土地11筆が、3000万円の借金の担保になっていることが明らかになった。

答 コンプライアンス条例の目的に、法令遵守及び倫理保持の環境整備とある。常識、道徳、倫理の問題で説明を求めている。市長の存在自体が公人である以上、倫理や道徳は公務かどうかに関係

「職員は、行政の透明化の推進と説明責任を果たすことにより、市民に対する市民の理解と協

問 事業所との関係はないが、土地を借金の担保にしているのは、私的なことと言うのは理解できない。自分の土地を借金の担保に提供するなら無関係な事業所とは言えない。コンプライアンス



防災おやこ手帳

問 税金面での対策はどうか。
答 検討していく必要がある。

問 税金面での対策はどうか。
答 検討していく必要がある。



佐伯北診療所のMRI

問 「医療」周辺市町との連携は

答 ブロック会議で提案し、協議していく

個人質問の映像を録画放映でご覧いただけます。



大口浩志議員

問 特に危険だと思われる物件についてはどうか。
答 スピード感を持って取り組む。

問 周辺市町との医療連携は。
答 周辺市町との話し合いを進め、ウイン・ウインの関係性の構築が必要と痛切に感じている。

問 現状は。
答 情報収集に努めている。

問 市民が喜ぶような情報発信がスピード感をもってできないか。
答 市民が誇れるような企業誘致を目指していく。

問 市内産業について、市のスタンスは。

答 必要不可欠な存在である。
問 発注、入札の在り方が市内業者を疲弊させていないか。例えば、目の前の一回だけの入札ではなく、メンテナンスがいるものは、トータルコストという考え方はないか。
答 入札の発注方法・物品の購入方法について十分研究していく。

産業振興について

問 ふれあい公園体育館の
トイレの洋式化を
答 利用者のニーズを把握し
改修を検討する



鼻岡美保議員

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。

ど一件50万円を超える修繕は協議事項となる。利用者のニーズを把握し改修を検討する。

小中高校生の国保均等割減免

問 Vリーグの女子大会や成人式の会場ともなる体育館だが、トイレの洋式化、シャワー室が個室になっていないなど、改善の予定はないのか。どこまでの修繕、改良が委託団体の責任になるのか。種々のイベントに对应えられる施設であってほしい。

答 指定管理者と協議をしながら取り組んでいる。今年度プール棟の女子トイレ2基を修繕する。シャワー室の改修な

問 半額とするための予算はいくらかかるのか。均等割額は他の医療保険制度にはなく、子供が増えると保険税が増える。子供の均等割減免は子育て支援として有効だ。均等割軽減の実施を検討してはどうか。

答 小中高校生の均等割を半額にする予算は、全体で約530万円、その対象者は510名と見込んでいる。実施にあたっては国保の運営協議会などで財源の議論が必要だ。

問 森林環境譲与税を若者の林業への就業を促す施策に使えないか。ウツ

ドショックで国産材の生産増が求められている。55の自治体の取り組みで、新規林業者が育っている。「自伐型林業」で林業家を育成し、定住・就労を進める施策を。

答 国は森林資源の適切な管理などのため、森林環境譲与税を創設した。実態把握を進め林業や地域の活性化につなげる。自伐型林業については我々も承知している。税の創設目的に沿って活用し、林業振興と林業者の育成、地域の活性化につなげたい。



ふれあい公園体育館のトイレ洋式化改修中

問 圃場整備の必要性は
避けて通れないが
答 理解いただくための
努力は惜しまない



佐藤武文議員

個人質問の映像を
録画放映でご覧に
なれます。

**赤磐警察署の誘致は
実現できるのか**

問 市民の安全安心・生命財産を守る喫緊の課題である赤磐警察署の誘致はいつになったら実現するのか。

答 早期実現は難しいが、粘り強く要望していく。

**最終処分地はいつ
完成するのか**

問 今年度中には地元調整を終えることが出来るのか。石蓮寺に誘致する考えに変わりはないのか。

答 今の計画を見直し、説明資料を作り提案していきたい。

石蓮寺地区が適地と考えている。

答 地域座談会などにおいて、制度説明の努力は惜しまない。

問 開発を制限している農業振興地域の見直しは避けて通れない。現状に即した土地利用の在り方を検討すべきではないか。

答 土地利用の在り方について議論を進めており、実現できるよう協議

問 学業は常に進化しており、時代の変化に適應した新たな対策を講ずる必要があるのではないか。

答 子どもたちが自ら考え主体的に行動できる生徒を育成するなど様々な教育施策に努める。

問 学生の本分は学力だけではないのか、人間力の大切さについて学校では教えていないのか。

答 義務教育課程において少しでもこのような力をつけてやりたい。



田植えの風景

議会全員協議会

5月27日

主な協議・報告事項

- ・令和4年6月第3回赤磐市議会定例会について
- ・予算常任委員会について
- ・赤磐市議会申し合わせ事項等の一部改正について

議会改革 検討委員会

5月27日に議会改革検討委員会を開催し、新たに正副委員長を決定した。

委員長 安藤 利博
副委員長 鼻岡 美保

9月議会の お知らせ

- 8月30日(火) 議案上程
8月31日(水) 議案上程
9月1日(木) 一般質問
9月2日(金) 一般質問
9月5日(月) 一般質問
9月7日(水) 質疑・委員会付託
9月9日(金) 決算審査特別委員会
9月12日(月) 決算審査特別委員会
9月13日(火) 決算審査特別委員会
9月15日(木) 産業建設常任委員会
9月16日(金) 総務常任委員会
9月20日(火) 厚生文教常任委員会
9月22日(木) 予算常任委員会
9月26日(月) 予算常任委員会
9月29日(木) 最終日(委員長報告・質疑・討論・採決)
- ※この日程は予定です。日程は、8月23日開催の議会運営委員会で決定します。

仮移転のご案内

本庁舎耐震改修工事に伴い、8月1日から議会は熊山支所3階へ移転しています。期間は令和5年8月頃までの予定です。

移転先

赤磐市役所熊山支所3階

住所 赤磐市松木623

電話番号 086195512945

(移転前と同じ番号)

※熊山支所にはエレベーターが設置されておりません。ご不便をおかけしますが、ご理解の程、よろしく願います。

赤磐市議会ホームページ

ホームページでは議会の情報や、本会議、委員会の中継を配信しています。

赤磐市議会

検索



(議会中継)



(会議録)



(市議会だより)

編集後記

6月に早々と梅雨が明けるといふ異常気象。猛暑が続く今年の夏は、コロナ禍にあって感染症予防と、熱中症対策を両立させる適切なマスク着用が求められている。

一国の元首相を銃で殺害するという衝撃的な事実と、その動機の異常さには憤り以外に言葉は出てこない。殺人と破壊以外の何物でもないロシアのウクライナ侵攻も続く。

自然現象への人間の対応には限りがあっても、人間の行いにはおのずから許される限度がある。

参院選も終わり、国会には国民のための論戦を望みたい。市議会も市民の皆様の期待に応える役割を果たしていきたい。

広報広聴委員(広報部会)

- 部長 光成 良充
- 副部長 鼻岡 美保
- 委員 治徳 義明
- 委員 大口 浩志
- 委員 永徳 省二
- 委員 安藤 利博